

1-0 情報の新旧と伝え方

どのような言語でも、情報を話し手・書き手が聞き手・読み手に伝える場合にはある**規則性**があります。たとえば、次の文を見てみましょう。

- (1) 「あなたは誰ですか」
「私ハ鈴木です」
- (2) 「鈴木さんは誰ですか」
「私ガ鈴木です」

ここには日本語の文法でよく問題になる、「ハ」と「ガ」の使い分けがあります。(1)は名前をきかれた本人が答える場合のふつうの答え方で、(2)は「鈴木」という名前の人がいることはすでにわかっている、それがどの人なのか分からないときに答えとして出てくる言い方です。情報の伝え方という観点からすると、(1)は「鈴木です」という部分が「新しい情報」を運ぶ部分、(2)では「私ガ」の部分が「新しい情報」を運ぶ部分です。聞き手がわかっていない「新しい情報」を「**新情報**」と呼ぶことがあります。

これに対して、(1)の「私ハ」、(2)の「鈴木です」はそれぞれ話し手にとっても聞き手にとっても「**既知の情報**」または「**旧情報**」です。これを「**既知情報**」あるいは「**旧情報**」と呼ぶことができます。

日本語の場合はこのように、「ハ」と「ガ」の「助詞」が「既知情報」と「新情報」という、情報の伝え方の区別をしてくれています。では、英語ではどうでしょうか？

1-1 情報の配列と重要度

英語においても情報を伝える中心になるのは名詞や文全体です。しかし、話し手が名詞に一定の情報を載せて聞き手に伝えるときの仕方、すなわち前項で述べた「**既知情報**」と「**新情報**」の伝え方には、**日本語とは異なる規則性**があります。(「名詞」は実際には「名詞句」ですが、それらの関係については順次お話ししていきます)

書かれた文の場合には原則として、文頭から文末に向かって、情報価値の低い方(主に既知情報)から高い方(主に新情報)へと要素が並ぶように情報を配列します。(☞「文末焦点の原則」とも呼びますが、これについては1-3で詳しく解説します)

一方、口頭の会話でのやり取りの場合には、文を書く場合と同じやり方が基本ではありますが、適切なイントネーションや強勢、あるいは息継ぎを用いることにより、話し手はどのような情報をその語に担わせるかを聞き手に伝えることもできます。

また、こうした方法以外にも、英語による情報の伝達には明確な方法があります。これから英語における情報の伝え方と本書のテーマである名詞表現について詳しく見ていくことにしましょう。



1-2 情報を担うもの

情報を伝達するときには、話し手が発言のポイントに十分な言語的コンテキスト (背景となる文脈) を与えておくポイントが聞き手に明確に伝わります。それぞれの情報を担うものは名詞句であったり文全体であったりします。ここでの名詞句には名詞が単独で用いられる場合も含まれますが、名詞句の考え方については後ほど 1-4 で詳しく見ていきます。ここではとりあえず名詞句を次のようなものとして理解しておいてください。

- 単独で用いられる名詞
- 名詞の前あるいは後ろに他の要素を伴うもの
(なお、本書では場合に応じて「名詞」とだけ提示している場合がありますが、これも「名詞句」と理解してください)

コンテキストについては、たとえば、Jack called Betty. という文があるとします。この文は、(1) ~ (4) の a. の文 (疑問文) に対する答えとなる場合は、b. の文の太字体の部分 (名詞句あるいは文全体) が「新情報」を担います。

Jack called Betty.

(1) a. Who called Betty?

「誰がベティに電話をしたのですか」

b. **Jack** called Betty [her].

「ジャックがベティ [彼女] に電話をしました」

(2) a. Who did Jack call?

「ジャックは誰に電話をしたのですか」

b. Jack [He] called **Betty**.

「ジャック [彼] はベティに電話をしました」

(3) a. What did Jack do to Betty?

「ジャックはベティに何をしたのですか」

b. Jack [He] **called** Betty [her].

「ジャック [彼] はベティ [彼女] に電話をしました」

(4) a. What happened?

「何が起こったのですか」

b. **Jack called Betty**.

「ジャックがベティに電話をしたのです」

では、コンテキストなしに (それ以前に何かの疑問文もなく)、ただ Jack called Betty. と提示されている場合にはどうなるでしょうか? その場合、読み手は Betty が新しい情報と解釈します。1-1 で述べたように、英語では情報価値の低い方から高い方へと配列するのが原則だからです。要するに、**英語ではコンテキストが与えられていない場合には新しい情報 (新情報)、あるいは重要な情報 (重点情報) を文末 (に近いほう) に置くことが原則**なのです。

なお、(1) ~ (3) の文中の代名詞 (英文中で [] 内に示されている部分) にも注目してください。**代名詞は典型的な既知情報**です。次の (5) で確認しておきましょう。It は a book を指している、すでにわかっている情報、すなわち既知情報です。斜字体 (a book, a rock musician) はそれぞれ新しく示された情報、すなわち新情報です。

(5) John bought **a book**. **It** (= The book) was about **a rock musician**.

「ジョンは1冊の本を買った。それ (= その本) はあるロックミュージシャンについての**本**だった」